



第26回 薬物動態談話会セミナー

会期：2022年8月24日(水)～26日(金)

開催形式：Web

未来創薬への道しるべ：
産官学が登りゆく岐路と交差点

セッション1

AMEDが進める創薬基盤推進研究事業と製薬動態研究ニーズ～社会実装に向けた壁～

組織委員：エーザイ 小森 高文、協和キリン 田原 晴信

「PETイメージング技術の薬物動態・DDS研究への応用と課題」

長崎大学 向井 英史

「薬物動態を含むプロファイル改善を効率化する創薬AIプラットフォーム構築」

理化学研究所 本間 光貴

「MPSを用いた薬物動態・安全性評価への応用と課題」

北里大学 前田 和哉

セッション2

医薬品開発における2030年の薬物動態の姿

組織委員：第一三共 渡邊 伸明、アステラス製薬 長坂 泰久

「Microphysiological systemを活用した医薬品の研究開発の将来像」

アステラス製薬 手塚 和宏

「東北大学病院の臨床・基礎研究から考える個別化薬物療法の現在地と未来」

東北大学病院 前川 正充

「血清タンパク質における超硫黄分子の役割（アルブミン受容体を生かした新たなDDS技術）」

徳島大学大学院 異島 優

セッション3

アンメットメディカルニーズに応える薬物動態研究の動向

—新医療モダリティ時代に対峙するための温故知新的アプローチ—

組織委員：武田薬品工業 平林 英樹、小野薬品工業 山浦 由之

「抗体医薬品のTMDDの予測」

小野薬品工業 星 裕太郎

「中枢作動性医薬品開発における動態学的最適化へのチャレンジ」

武田薬品工業 岩崎 慎治

「Beyond the rule of five 医薬品創製における薬物動態研究の全体戦略」

中外製薬 三宅 泰司

特別講演1

「創薬におけるイノベーションを活性化させるエコシステムの形成にむけて」

湘南ヘルスイノベーションパーク 藤本 利夫

特別講演2

「化学プローブとライブイメージングに基づく新がん精密医療技術の創製」

東京大学 浦野 泰照

会長講演

「分子標的薬の組織内マイクロドーズ投与による標的占有率を予測する；

バーチャルクリニカルスタディの活用」

城西国際大学 杉山 雄一

ラウンドテーブルディスカッション

本セミナーでは、より広く、深く、医薬品開発および薬物動態を学んでいただくことを目的として、今回もラウンドテーブルディスカッションを実施いたします。アカデミア&企業の著名な先生方、同じ分野で働く同業者と少人数で議論を深め、交流を図っていただけます。ぜひご参加ください！！

参加登録は薬物動態談話会HP、会員専用サイト <http://danwakai.jp/> より